

# 能勢高校ニュースレター 2015春号



能勢高校では、多くの皆さんに教育活動や能勢高生の活躍ぶりを知っていただくため、学期ごとに「能勢高校ニュースレター特集号」を発行しています。今回の2015春号では、3学期の活動を中心に構成いたしました。ぜひご覧ください。ホームページでも情報を発信しています。

<http://www.nose-highschool.ed.jp/>

## マレーシア修学旅行 アスタ高校との交流・姉妹校提携



1月25日から29日の4泊5日の日程で、2年次生のマレーシア修学旅行を実施し、アスタ高校との学校交流を行いました。アスタ高校は、英語をコミュニケーションツールとし、マレー系、中国系、インド系の生徒がともに学び、多文化共生や異文化理解を尊重している高校です。本校生たちは、「総合的な学習の時間」や「春の校外学習」などを利用し、マレーシアについての学習を積み重ね、アスタ高生と個別に半年以上かけて、メール交換や写真交換などの交流を続けてきました。

当日は、9時すぎに学校に到着し、アスタ高生たちは、民族衣装のファッションショーや歌、伝統的な結婚式のパフォーマンスを披露するなど熱烈に歓迎してくれました。本校

生たちは、学校紹介のプレゼン、人形浄瑠璃・空手・剣道の披露、キロロの“未来へ”の合唱などで応えました。また、今回で9回目となる交流を通じて、両校が築いてきた関係をより確かな形にして継続させるため、両校の間で姉妹校提携を調印しました。

午後からは、アスタ高生のリードでクアラルンプールのセントラルマーケットを散策しました。夕食のパーティーでは、両校生が歌やダンスなどのパフォーマンスを披露するなど、全員が心から打ち解け、大きな感動を呼ぶものとなりました。まる一日かけた交流の終わりには、多くの生徒が涙を流し、別れを惜しんでいました。また、マレーシアでの学校交流以外の活動としては、熱帯雨林トレッキング、イスラム教・ヒンズー教の代表的な寺院の見学などを行いました。



姉妹校提携協定書



ヒンズー教の聖地・バツー洞窟



モスクで女子は赤のフードコート着用



森林研究所キャノピーウォーク

## 岡山県立和気閑谷高校とユネスコスクール交流イベント

12月20日（土） 地域再生マネージャー齊藤俊幸さんのコーディネートにより、本校と同じユネスコスクールの岡山県立和気閑谷（わけしずたに）高等学校と交流イベントを行いました。

今回のイベントはスーパーグローバルハイスクールスクールアソシエイト校の取組の一環として、使える英語力を身に付けるためのものでもあり、能勢高生たちと和気閑谷高生たちが、大阪国際大学の留学生のサポートを受け、外国人教師の指導により、クリスマスソングを英語で歌い楽しむものです。能勢高生11名、和気閑谷高生4名、大阪国際大学の留学生9名が参加しました。講師は、横浜にあるインターナショナルスクールの Sheryl Bridgewater 先生です。会場は岡山県JR和気駅前の旧中国銀行跡ビルです。高校生たちは、最初は全て英語で進められるイベントに戸惑いを見せていましたが、Sheryl先生の圧倒的なパワーと留学生たちのサポートにより、次第に英語への抵抗感がなくなり、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。



交流会の様子



参加者全員で記念写真

## 大阪国際大学での1年次生 冬期宿泊勉強会



“English Time”の様子

12月25日（木）26日（金）1泊2日の日程で、本校と高大連携協定を締結している大阪国際大学において、1年次生希望者を対象に冬季宿泊勉強会を実施しました。本校の教員による国語・数学・英語の講習に加えて、大阪国際大学のイギリス人講師 John Smith 氏による特別講義“English Time”を実施しました。参加した生徒たちは、夏の宿泊勉強会に引き続き、大学入試に向けての学習の基礎を定着させるとともに、難易度の高い教材に挑戦することができました。

また、大学の先生からの講義により刺激を受け、今後の学習への大きな動機づけにもなりました。

## 介護職員初任者研修

昨年度に引き続き本年度も、NPO法人との共催で、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級養成研修）を、6月14日～12月20日の土曜日全16回の日程で、本校会議室を会場として開催しました。参加生徒については、費用を「能勢高校を応援する会」から助成していただきました。今年度は、生徒6名・教員2名・外部（主に能勢町）の方8名の計16名が受講しました。本校生6名は、全員終了試験に合格し、大阪府認定資格が授与されました。また、本校では、学校外の学修に係る単位認定の規定を設けており、6名に4単位の単位認定を行いました。



一昨年度から東中・西中の3年生を本校に招き、中学校から高校への学習をスムーズにつなげるため、国語、数学、英語の講習会（土曜日全12回）を行っています。今年度は、国語、数学、英語の講習に加え、能勢町教育コーディネーターの藤岡慎二さんの指導により「よのなか科」（全10回）の授業を行いました。この授業は、リクルート社の受験サプリ「よのなか科」の映像教材を活用したもので、本校1・2年生14名と中学3年生17名が参加しました。

「よのなか科」とは、世の中の答えのない問題に対して議論し「納得解」を得ていく授業です。本校生たちは、毎回、藤岡さんからの事前指導により前もって議論を重ねた上で、中学生と混成チームを組み、グループディスカッションをリードしました。中高生たちは熱心に議論を深め、高校生から中学生に様々なアドバイスが行われ、回を重ねるにつれて新たな発想も生まれるようになりました。

なお、この取組について1月31日（土）、朝日出版社「AERA」からの取材がありました。この取材は、「受験サプリ」を活用し特色ある取組をしている高校を全国から3校選び、特集を組むものです。この記事は、3月9日（月）発売の「AERA」に掲載されました。



中高生のグループディスカッション



能勢高生の発表の様子



「AERA」の取材

## 耐寒遠足

2月13日（金）本校から歌垣山・奥の院にかけての「耐寒遠足」を実施しました。当日は朝から気温が低く、スタート時には晴れ間が見られましたが、雪がちらつく中での「耐寒」遠足となりました。生徒たちは目標時間内での完歩を達成し、全体的に早いペースで歩き終えました。また、朝からPTAの方々に「豚汁」を調理していただき、寒い中を帰ってきた生徒や先生たちにふるまうことができました。豚汁は大人気で、3、4杯おかわりする生徒もいました。



## 大阪府教育委員会人権作文表彰



本校1年次生の小谷麻菜美さんと原田朔弥さんが「大阪府人権作文コンクール」に応募し、府内5100作品の中から優秀賞に選ばれました。ふたりは1月31日（土）大阪府教育センター大ホールで開催された「平成26年度 人権文化発表交流会」に参加し、表彰状を授与されました。

本校生徒は過去4年にわたり、この人権作文コンクールで最優秀賞や優秀賞を連続して受賞しています。

## 第61回卒業証書授与式を挙行



2月27日（金）教育委員会や議会関係などの来賓と多くの保護者の方々の臨席のもと、厳粛な雰囲気の中、第61回卒業証書授与式を挙行することができました。本年度の卒業生は46名でした。

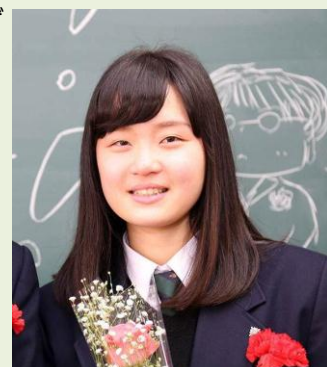
校長は卒業生に対する式辞として、変化が激しく先行きが不透明なこれからの社会を生き抜くために、「知識や情報を活用し問題を発見する力」「答えのない問いに対して、自分なりに解決策を見いだす力」「意見の違う人の立場を尊重しつつ、相手との共通点を見つけて納得解を導き出していくコミュニケーション能力やコラボレーション能力を身に付けること」の重要性を伝えました。

### 「がんばれ能勢高生！」 合格体験記

能勢高校での高校生活はとても充実した3年間でした。能勢高校は、家から、そして先生との距離が近いこと、そして少人数であること、4つの系列がある総合学科であることに魅力を感じました。国際交流研修でオーストラリアに行きホームステイしたこと、ユネスコクラブ活動でユネスコスクール世界大会のスタッフを務めたことなど、校外での活動にも積極的に参加しました。3年生のときのAO入試対策講座が、進路について真剣に考えるきっかけになりました。進路について悩んでいた私に先生方がたくさんの情報を与えてくださったことで、和歌山大学で国際的な観光を通して地域再生を学びたいと思うようになりました。先生方の熱心な指導のおかげで志望大学に合格することができました。

次は、大学でさらに意欲的に様々なことに挑戦し、たくさんのことを習得していきたいと思っています。みなさんも多くのことにチャレンジし、一回きりの高校生活を楽しんでください。

平成27年卒 61期生 上安 佳奈 さん  
和歌山大学 観光学部 合格



能勢高校では、他の高校ではできない体験をたくさんしました。その中でも、AO入試対策講座では、大学の受験方法や面接・論文のテクニックを学べただけでなく、自分を見直すことができました。無理に大学を決めるのではなく、時間をかけて、自分が高校生活でどんな体験をしたか、自分が好きな事は何かなどを一つ一つ出していき、自分に合った大学を決め、合格する事ができました。AO入試のように自分自身を紹介できる方法で受験して良かったです。「良い大学だから」「指定校だから」などという理由で大学や就職先などを決めるのではなく、一番に好きな事ややりたい事を優先してほしいと思います。そのためにも、能勢高校で行事や委員会など積極的に参加し、手を借りながら、手を貸しながら、充実した高校生活を手に入れてください！

私はこれから始まる大学生活で環境がどういう風に変化していくのか分かりませんが、どんな状況でも諦めずに頑張りたいです！

平成27年卒 61期生 福井 梨加 さん  
立命館大学 文学部 合格

